学校図書館 支援員だより 中学校の部 Vol.44

発行元: 水戸市立中央図書館

水戸市大町3丁目3番20号

学校図書館支援担当

発行日: 令和7年8月29日

戦後80年、本が伝える思い

1945年8月15日の終戦の日から今年で80年が経ちました。 その間、戦争や平和への思いをのせて、たくさんの本が出版されました。





^

『へいわとせんそう』 たにかわしゅんたろう ぶん Noritake え ブロンズ新社

昨年亡くなられた谷川俊太郎さんも、戦争を体験されたお一人です。戦争によって変わってしまうもの、変わらないものをシンプルな絵と言葉で比較し、戦争の本質について考えさせられる1冊です。





『ヒロシマ消えたかぞく』 指田和 著 鈴木六郎 写真 ポプラ社



ル 消えた あ し あ と る と る 210

数字は、本のラベルです。

『「ヒロシマ消えたかぞく」の あしあと』 指田和 著 ポプラ社

著者の指田さんが、広島平和記念資料館で出会ったのは、家族への愛であふれた鈴木六郎さんの 家族写真の数々。忘れないでほしい、二度とこのようなことを起こしてはならない、そんな願いが こめられた I 冊です。

その後に発行された『「ヒロシマ消えたかぞく」のあしあと」』では、本が発行されるまでの経緯や、その後の 軌跡が紹介されています。



『水戸空襲戦災誌』 水戸空襲戦災記録の会 編集 水戸市役所



銀杏坂にある大銀杏は、空襲により焼けこげましたが、新芽を出しました。 大銀杏前には、当時の写真と共にこのことを紹介した案内板があります。

水戸市でも、昭和 20 年 8 月 2 日、午前 0 時 3 | 分から同 2 時 | 6 分までの間、アメリカ軍から空襲を受け、 300 人以上の方が亡くなりました。

水戸空襲戦災記録の会によって編集された『水戸空襲戦災誌』では、空襲を体験された市民の方々の証言や空襲を受けて変わってしまった当時の市街地の航空写真が掲載されています。

「戦争と平和」を知るために参考になる本やサイトを紹介したパスファインダー(調べもの案内)を作成しました。→



タブレット・スマホからは





「アンパンマン」の作者やなせたかしさん、『ゲゲゲの鬼太郎』の作者水木しげるさんも戦争を経験され、その体験を書籍にされています。



726

『ぼくは戦争は大きらい ―やなせたかしの平和への思い―』 やなせたかし 著 小学館クリエイティブ

戦争のことを思い出すのも話すもの嫌だったやなせたかしさんですが、過去を忘れて 同じ失敗を繰り返さないために、90歳を越えて戦争体験を語って下さいました。



726

『娘に語るお父さんの戦記―小さな天国の話―』 水木しげる 著 河出書房新社

2 I 歳の時に南方に出征された水木しげるさん。部隊の全滅や左腕を失うなど壮絶な体験を されました。そんな中でも、現地の人と交流し、戦後、再び現地を訪れています。



「ぼくら」シリーズの著者、宗田理さんは、『ぼくが見た太平洋戦争』 (PHP 研究所) を出版されています。



913 ア

『北緯 44 度浩太の夏 ぼくらは戦争を知らなかった』 有島希音 作 ゆの 絵 岩崎書店

終戦直後の8月22日、構成から引き揚げてきた疎開船3隻が、北海道の留前沖でソ連軍の潜水艦から攻撃を受け、2隻が沈没し、子どもや女性を含め1700人以上の方が亡くなるという「兰船殉難事件」が起こりました。著者が、故郷の海を舞台に描いた物語です。



319

『池上彰の君と考える戦争のない未来』 池上彰 著 理論社 ※改題した『君と考える戦争のない未来』 (集英社文庫版)も出版されています。

戦争をなくすためには、まず、人類の戦争の歴史を遡り、戦争を知ることから始めよう。 これからの未来を考えるための一冊です。



『僕らは戦争を知らない』(Gakken)も、戦争について、マンガを交えてわかりやすく解説しています。

時を超えて、世界に広まった佐々木禎子さんの物語

原爆投下を決断したアメリカ合衆国のトルーマン大統領の孫、クリフトン・トルーマン・ダニエルさんも、 禎子さんの物語を読み、後に広島を訪問されています。

参照:広島平和記念資料館ウェブサイト 国立国会図書館国際子ども図書館ウェブサイト 中國新聞 ヒロシマ平和メディアセンターウェブサイト

